

市民意識調査の最終報告について

1 市民意識調査の目的

次期基本計画の策定にあたっては、市民のウェルビーイングの視点を取り入れた実効性のある政策立案を行うこととしており、本調査は、市民の生活満足度や将来への期待度などを具体的に把握するために実施したものである。

2 市民意識調査の全体像

市民意識調査はアンケートと広聴モニターアンケートにより構成している。

	分類	主な内容
市民意識調査	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出により 5,000 人を対象として調査 ・実感度と重要度について定量的なデータを集計、分析する
	広聴モニターアンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・登録制の広聴モニター228 人を対象として調査 ・実感の背景等について、自由記述の回答により、定性的なデータを収集、分析する

3 アンケートについて

(1) 調査概要

① 調査内容

【アンケートの構成】

アンケートの質問文（指標）は「総合指標」、「分野指標」、「個別指標」の3層構成としている。

○総合指標（8 指標）

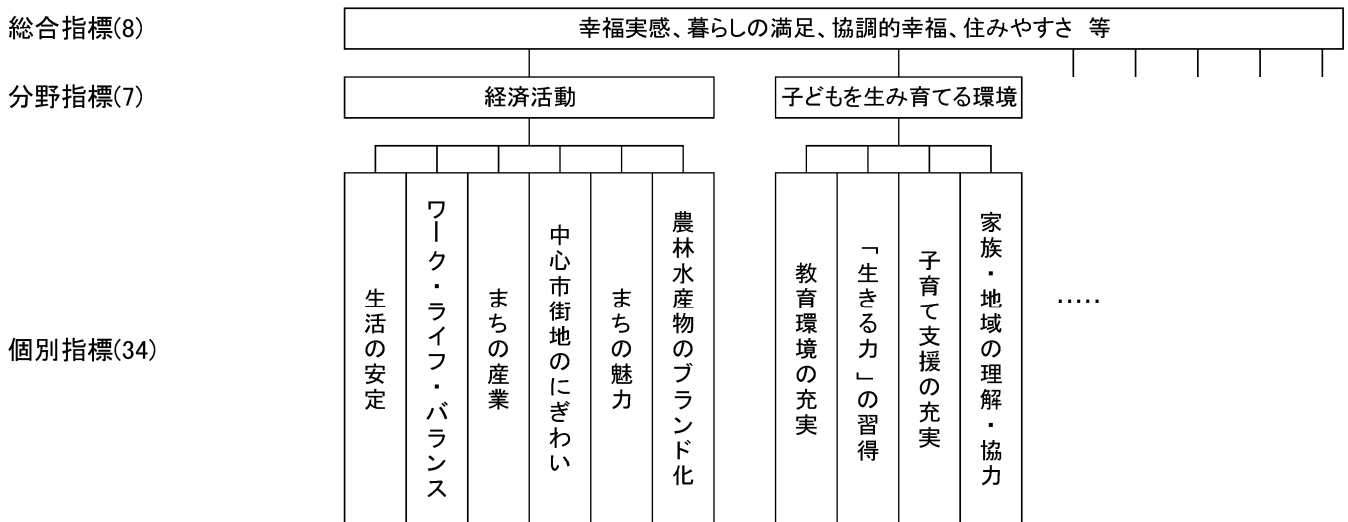
幸福実感、暮らしの満足といった分野横断的で総合的な実感を把握するための質問。

○分野指標（7 指標）

各分野に関する実感を把握するための質問。

○個別指標（34 指標）

各分野に関する具体的な項目について実感を把握するための質問。



【質問内容】

《分野ごとの質問（分野指標+個別指標）》

「産業経済」、「子育て・教育」、「安全・安心・快適」、「環境・エネルギー」、「健康・福祉」、「文化・生涯学習」、「地方自治・都市経営」の7分野に関して、現在の実感と、自身の幸せにとって重要だと思う項目を質問した。

○実感に関する質問

分野指標及び個別指標について「感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「感じない」の5段階評価+「わからない」のいずれかを選択。

○重要度に関する質問

個別指標のうち「あなたの幸せにとって特に重要だと思うもの」として1~3位までの順位を回答。

《すべての分野に関する質問》

幸福実感や暮らしの満足といった分野横断的で総合的な内容に関して、現在の実感や自身の幸せにとって重要だと思う項目を質問した。

○実感に関する質問

- ・幸福や暮らしの満足に関する総合的な3指標について「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とする11段階評価のいずれかを選択。
- ・生活実感に関する分野横断的な5指標について「感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「感じない」の5段階評価 + 「わからない」のいずれかを選択。

○重要度に関する質問

- ・「産業経済」、「子育て・教育」、「安全・安心・快適」、「環境・エネルギー」、「健康・福祉」、「文化・生涯学習」、「地方自治・都市経営」の7分野について「あなたの幸せにとって現在重要だと思うもの」として1~7位までの順位を回答。
- ・上記7分野について「あなたの幸せにとって10年後に重要だと思うもの」として1~3位までの順位を回答。

②調査の設計

調査地域	浜松市内全域
調査対象	浜松市内在住の満18歳以上（671,016人：2023年8月1日時点）
標本数	5,000人
抽出方法	住民基本台帳から層化無作為抽出 ・日本人住民・外国人住民の人口比で配分した。 ・日本人住民については、旧行政区の7区、男女の人口比で配分した。
調査方法	郵送配布、郵送またはWebによる無記名回収
調査期間	2023年11月17日（金）～12月10日（日）

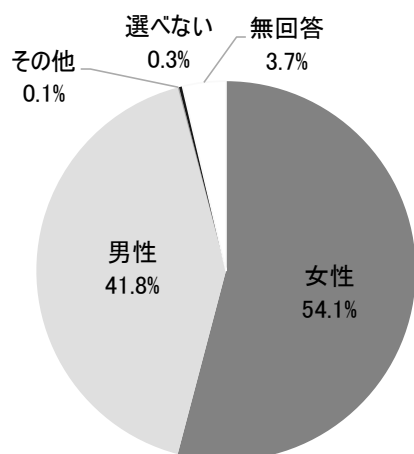
③回収率

有効回答数：2,640件

回収率：52.8%

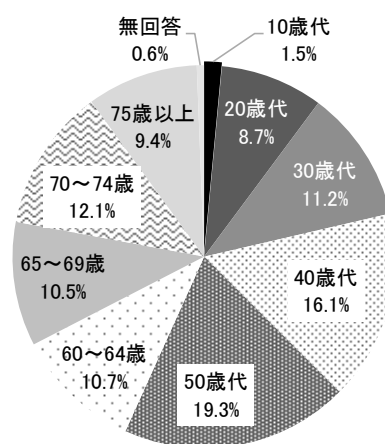
④回答者の属性

【性別】



全体(n=2640)

【年齢】



全体(n=2640)

(2) 調査結果

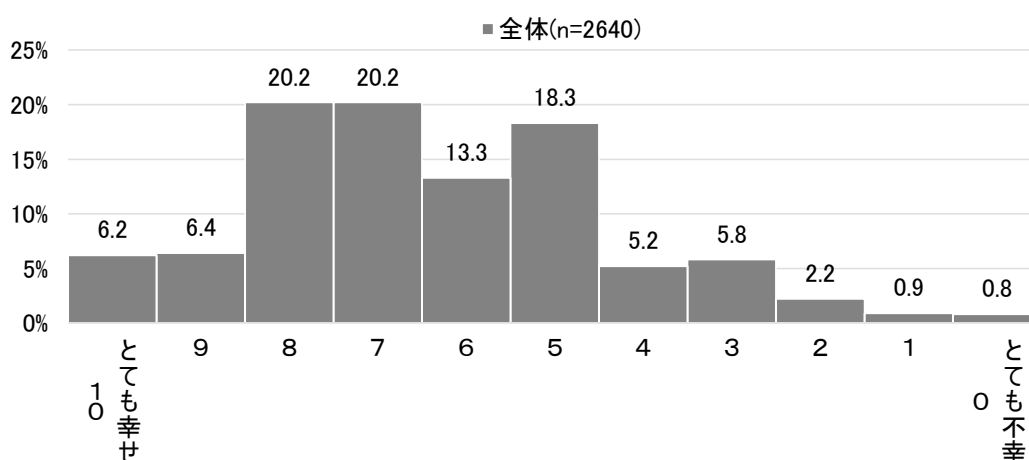
①実感の状況

【総合指標】

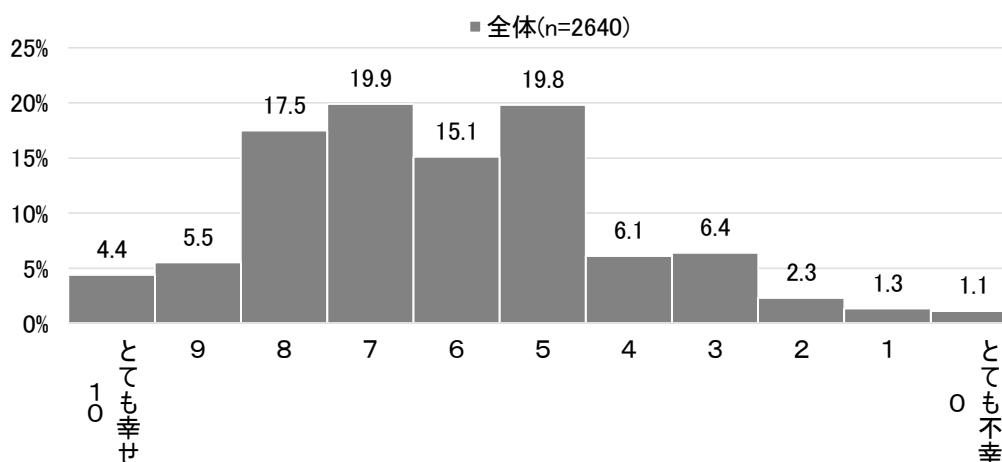
幸福実感、暮らしの満足、協調的幸福のいずれも「5」から「8」が 10%以上とボリュームゾーンとなっている。また、平均は幸福実感で 6.4、暮らしの満足で 6.2、協調的幸福で 6.1 となった。

住みやすさ、運動の実施、身体的健康、精神的健康、時間的ゆとりについては、「感じる」と「やや感じる」の合計値でみると、運動の実施を除く各指標で 50%超えとなった。特に住みやすさについては 71.7%と高くなっている。運動の実施については 42.6%と他の指標と比べて低い。

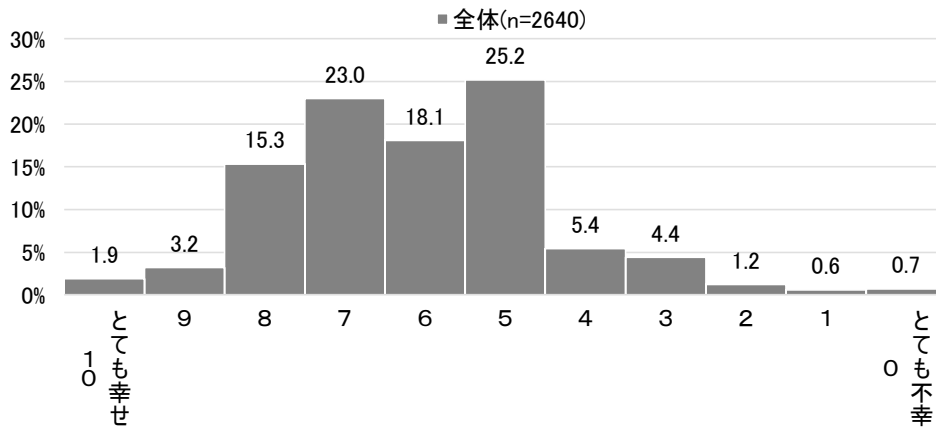
指標	質問文
幸福実感	現在、あなたはどの程度幸せですか。



指標	質問文
暮らしの満足	現在、あなたは浜松市での暮らしにどの程度満足していますか

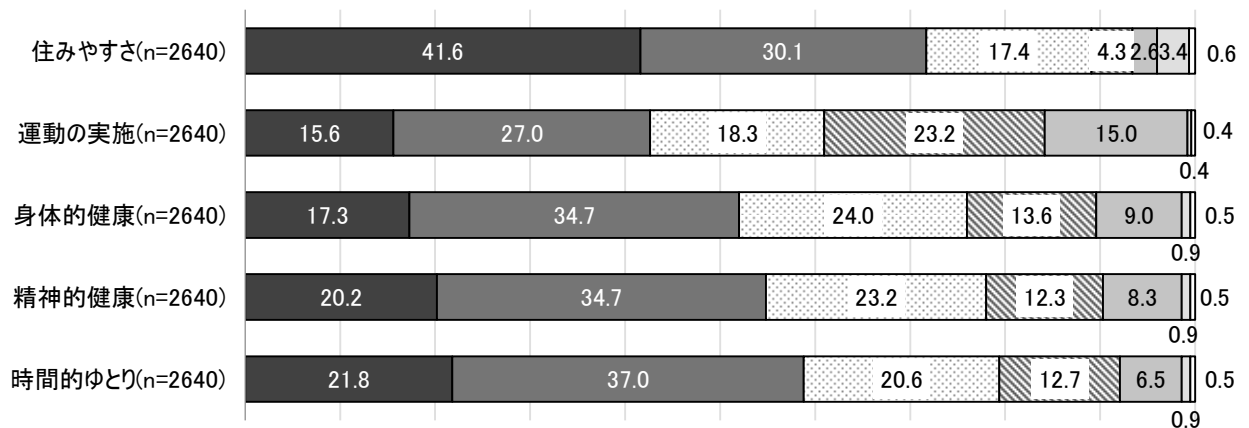


指標	質問文
協調的幸福	あなたにとって、身近なまわりの人や大切な人は、大体、どれくらい幸せだと思いますか。



指標	質問文
住みやすさ	あなたは、これからも浜松市に住み続けたいと感じますか。
運動の実施	あなたは、体を動かしたり運動したりすることができていると感じますか。
身体的健康	あなたは、身体的に健康な状態だと感じますか。
精神的健康	あなたは、精神的に健康な状態だと感じますか。
時間的ゆとり	あなたは、心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか。

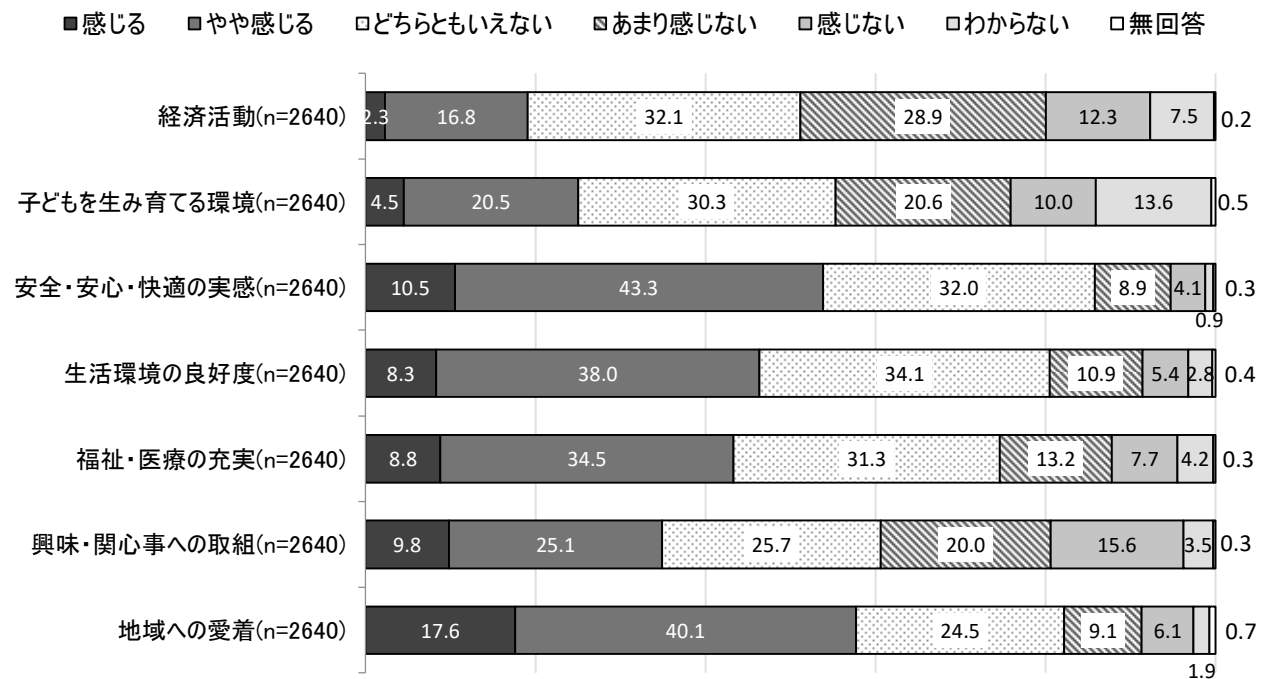
■感じる ■やや感じる □どちらともいえない □あまり感じない □感じない □わからない □無回答



【分野指標】

「感じる」と「やや感じる」の合計値でみると、地域への愛着と安全・安心・快適の実感については50%を超えている。一方、経済活動、子どもを育てる環境、興味・関心事への取組については他の指標と比べて低く、特に経済活動については19.1%と目立って低くなっている。

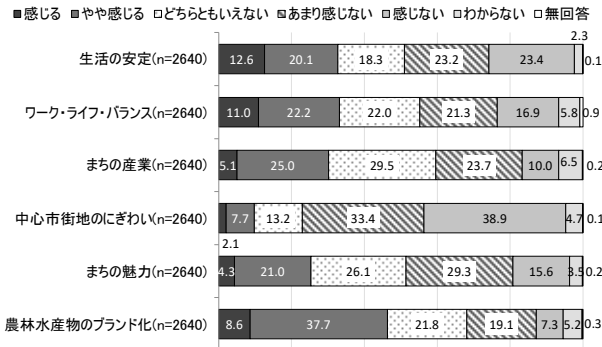
指標	質問文
経済活動	浜松市の経済活動(市民の消費、企業の活動など)は盛んだと感じますか。
子どもを育てる環境	あなたの暮らしている地域では、子どもを育てやすい環境が整っていると感じますか。
安全・安心・快適の実感	あなたの暮らしている地域は、安全・安心で住みやすいと感じますか。
生活環境の良好度	あなたの暮らしている地域は、快適で良好な環境にあると感じますか。
福祉・医療の充実	あなたの暮らしている地域で、福祉・医療の面において安心して生活ができていると感じますか。
興味・関心事への取組	あなたは、興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか。
地域への愛着	あなたは、暮らしている地域に対する愛着を持っていますか。



【個別指標】

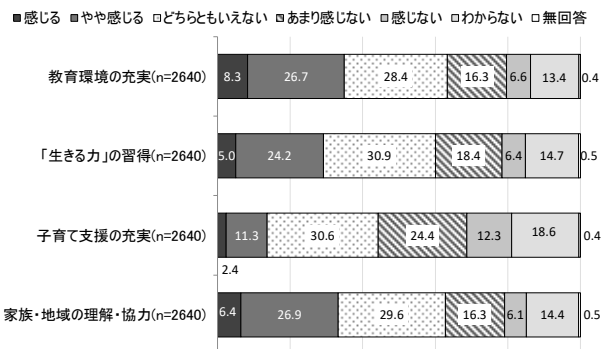
個別指標の中で「感じる」と「やや感じる」の合計値が特に高いのは、医療の充実、生活環境の快適さ、まちなみの良さ、農林水産物のブランド化などとなっている。一方、目立って低い指標としては、再生可能エネルギー・省エネルギー、中心市街地のにぎわい、障がい者福祉の充実、生涯学習環境の充実などとなっている。

産業経済



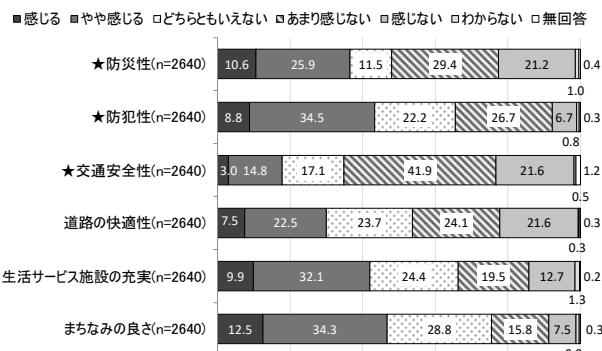
指標	質問文
生活の安定	あなたは、生活を送るために必要な収入を得ることができていると感じますか。
ワーク・ライフ・バランス	あなたは、仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか。
まちの産業	浜松市の企業は元気で活力があると感じますか。
中心市街地のにぎわい	浜松市の中心市街地はにぎわいがあると感じますか。
まちの魅力	浜松市は、市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。
農林水産物のブランド化	浜松産の農林水産物は、ブランドとして評価されていると感じますか。

子育て・教育



指標	質問文
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。
「生きる力」の習得	あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。
子育て支援の充実	あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか。
家族・地域の理解・協力	あなたのご家族や暮らしている地域の方は、子育てに関する理解や協力があると感じますか。

安全・安心・快適

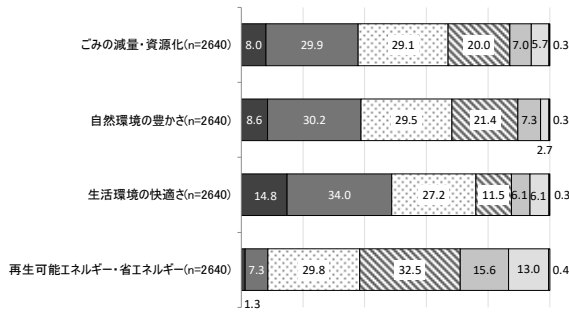


指標	質問文
防災性	あなたの暮らしている地域で、災害の危険を感じますか。
防犯性	あなたの暮らしている地域で、犯罪への不安を感じますか。
交通安全性	あなたの暮らしている地域で、交通事故の危険を感じますか。
道路快適性	あなたの暮らしている地域では、自動車、自転車、徒歩などにより、快適な移動ができる道路が整備されていると感じますか。
生活サービス施設の充実	あなたの暮らしている地域の生活サービス施設（医療・福祉、買物、文化、公共交通など）は充実していると感じますか。
まちなみの良さ	あなたの暮らしている地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか。

※ 「防災性」「防犯性」「交通安全性」については負の実感を尋ねているため、「感じる」「やや感じる」「あまり感じない」「感じない」をそれぞれ「感じない」「あまり感じない」「やや感じる」「感じる」に置き換えている。

環境・エネルギー

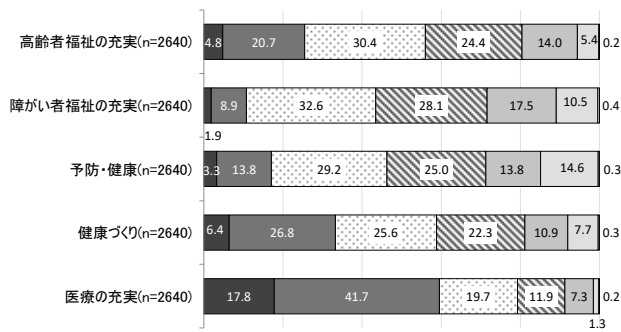
■感じる ■やや感じる □どちらともいえない □あまり感じない □感じない □わからない □無回答



指標	質問文
ごみの減量・資源化	あなたの暮らしている地域では、ごみの減量やリサイクルなど環境に配慮した取組が進んでいると感じますか。
自然環境の豊かさ	あなたの暮らしている地域では、豊かな自然が守られ、自然と触れあう暮らしができていますと感じますか。
生活環境の快適さ	あなたの暮らしている地域の生活環境（大気、水、土壌など）には、大きな問題はないと感じますか。
再生可能エネルギー・省エネルギー	あなたの暮らしている地域で、地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が十分にされていると感じますか。

健康・福祉

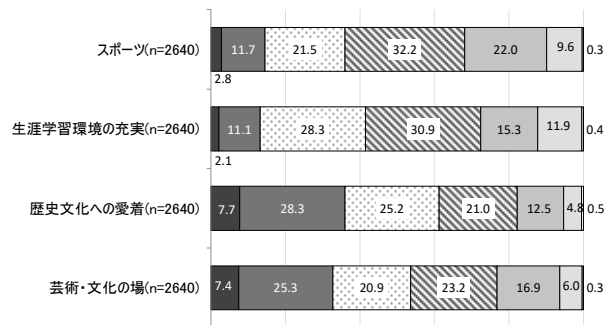
■感じる ■やや感じる □どちらともいえない □あまり感じない □感じない □わからない □無回答



指標	質問文
高齢者福祉の充実	あなたの暮らしている地域は、高齢者が暮らしやすい環境だと感じますか。
障がい者福祉の充実	あなたの暮らしている地域は、障がい者が暮らしやすい環境だと感じますか。
予防・健康	あなたの暮らしている地域では、生活習慣病対策など、健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか。
健康づくり	あなたの暮らしている地域では、ウォーキングや体操などの健康づくりの意欲が高いと感じますか。
医療の充実	あなたの暮らしている地域では、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか。

文化・生涯学習

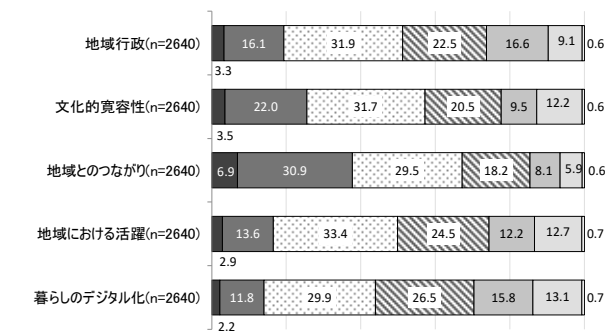
■感じる ■やや感じる □どちらともいえない □あまり感じない □感じない □わからない □無回答



指標	質問文
スポーツ	浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか。
生涯学習環境の充実	あなたの暮らしている地域では、生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか。
歴史文化への愛着	あなたは、暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じますか。
芸術・文化の場	あなたの暮らしている地域では、音楽や芸術を鑑賞できる場や文化活動に参加できる場が整っていると感じますか。

地方自治・都市経営

■感じる ■やや感じる □どちらともいえない □あまり感じない □感じない □わからない □無回答

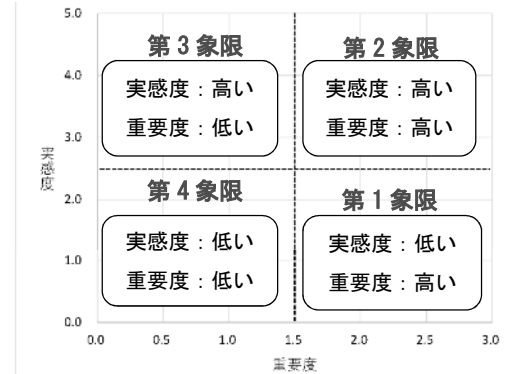


指標	質問文
地域行政	浜松市は、市民のことを真剣に考えていると思いますか。
文化的寛容性	あなたの暮らしている地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか。
地域とのつながり	あなたの暮らしている地域では、自治会や地域行事などの地域活動への参加が盛んだと感じますか。
地域における活躍	あなたの暮らしている地域では、年齢や性別にかかわらず誰もが活躍出来ていると感じますか。
暮らしのデジタル化	あなたの暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいと感じますか。

②各分野の実感度と重要度

各指標の実感度と重要度（「あなたの幸せにとって重要だと思うもの」を重要度とする）を視覚化するため、便宜上散布図を作成し、実感度と重要度の平均値を分岐点として、第1象限～第4象限の4つの領域に区分した¹。

- 第1象限:重要度が高いとされているものの、実感が得られていないと考えられる指標。
 第2象限:重要度が高く、実感も得られていると考えられる指標。
 第3象限:重要度が低いとされているものの、実感が得られていると考えられる指標。
 第4象限:重要度が低く、実感も得られていないと考えられる指標。

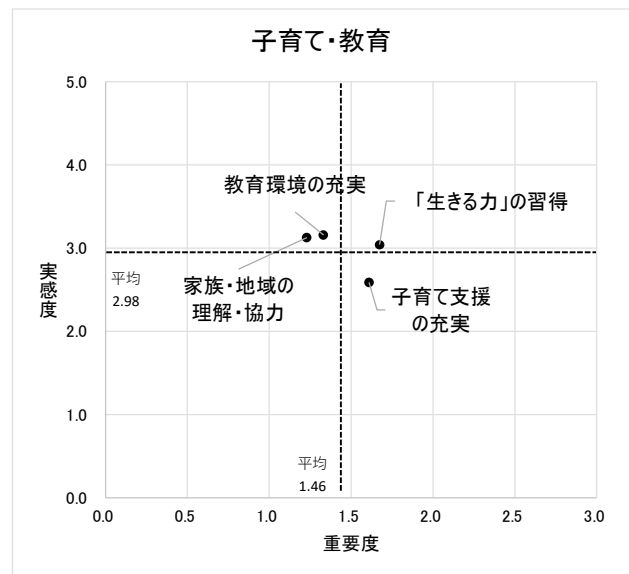
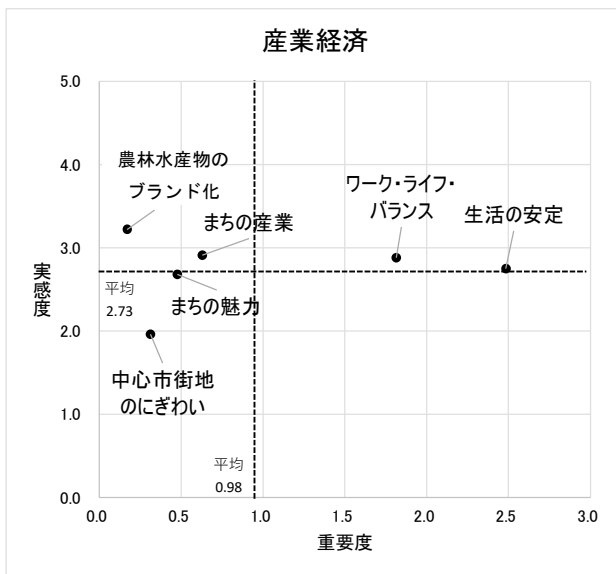


※実感度と重要度の関係のイメージ

実感度:指標ごとに実感を尋ねた結果、「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点として、合計得点を回答数(n=2640)で除したもの

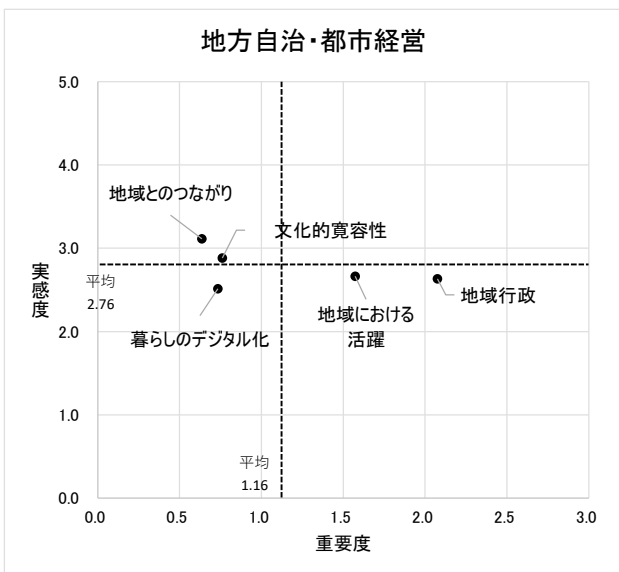
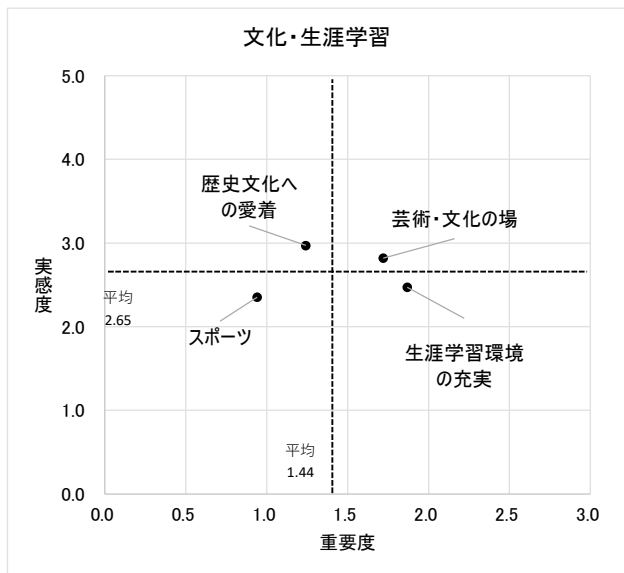
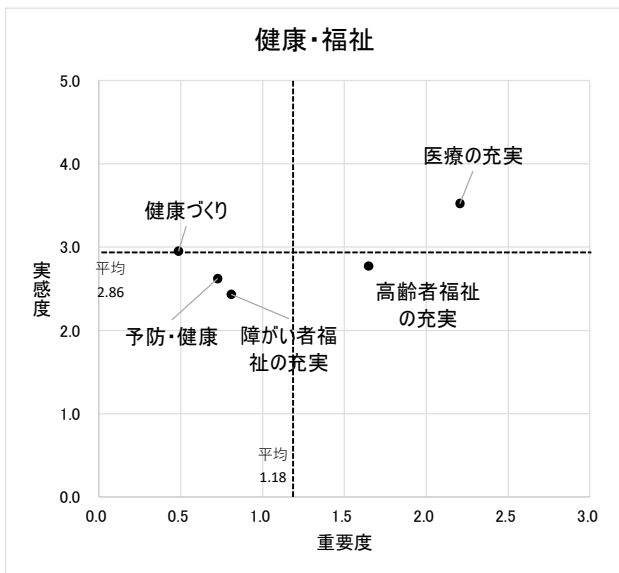
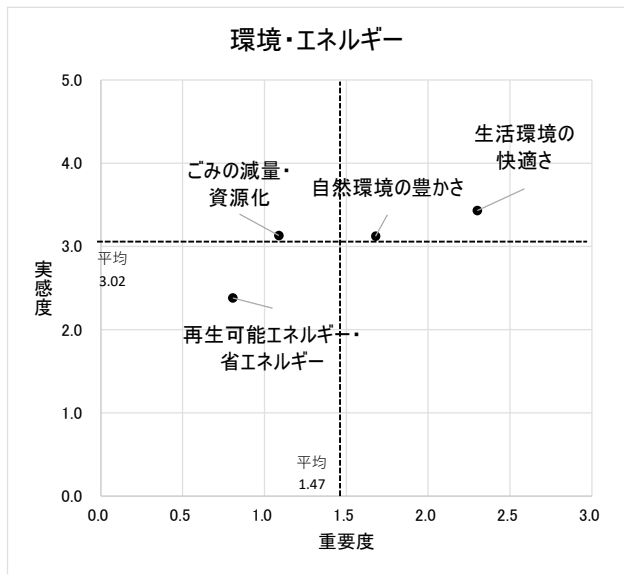
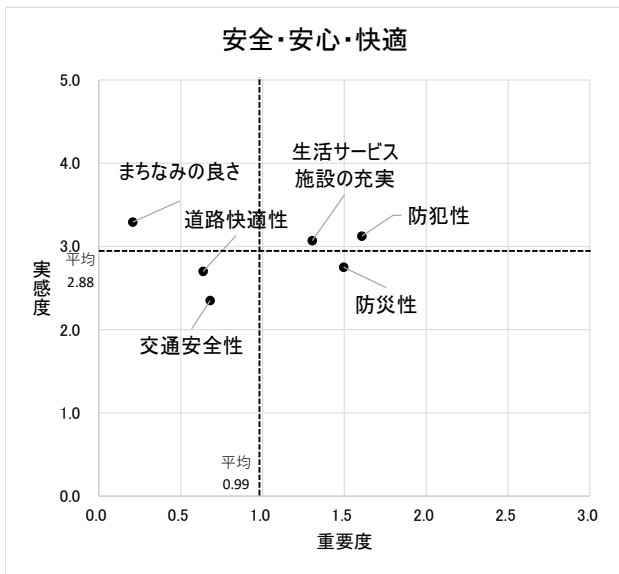
重要度:「あなたの幸せにとって特に重要だと思う指標」を1位～3位まで尋ねた結果、1位を3点、2位を2点、3位を1点として、合計点数を回答数(n=2640)で除したもの

個別指標の中で第2象限(重要度が高く、実感が得られているもの)にプロットされたのは、ワーク・ライフ・バランス、生活の安定、「生きる力」の習得、生活サービス施設の充実、防犯性、自然環境の豊かさ、生活環境の快適さ、医療の充実、芸術・文化の場となった。一方、第1象限(重要度が高いとしているにもかかわらず、実感が得られていないもの)にプロットされたのは、子育て支援の充実、防災性、高齢者福祉の充実、生涯学習環境の充実、地域における活躍、地域行政となった。



¹実感度及びその平均値の算出にあたって、「わからない」の回答を除いている。

なお、第1回浜松市基本計画検討委員会（2024年1月16日開催）では、「わからない」の回答を含んで実感度及びその平均値を算出し、中間報告をしている。



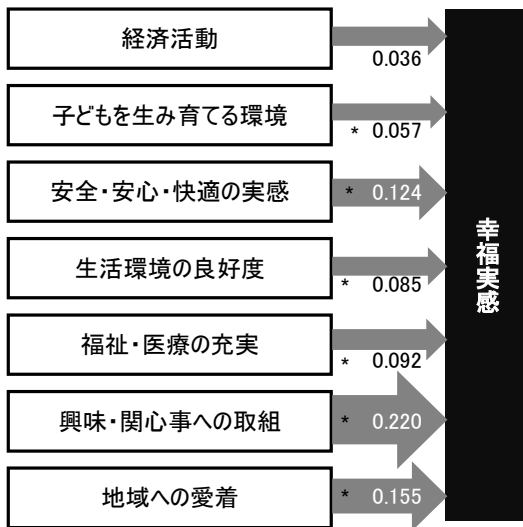
③指標の影響度

総合指標への分野指標の影響度及び分野指標への個別指標の影響度について、重回帰分析²を行った。

【総合指標への分野指標の影響度】 *は5%の有意水準で有意差あり

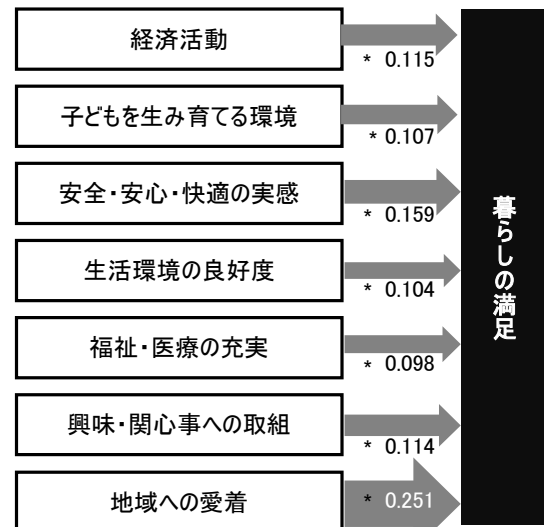
総合指標への影響度が高い分野指標をみると、幸福実感の向上への影響度が最も大きい分野指標は「興味・関心事への取組」、暮らしの満足については「地域への愛着」、協調的幸福では「安全・安心・快適の実感」、住みやすさでは「地域への愛着」、運動の実施、身体的健康、精神的健康、時間的ゆとりのいずれも「興味・関心事への取組」となった。

<分野指標の幸福実感への影響度>



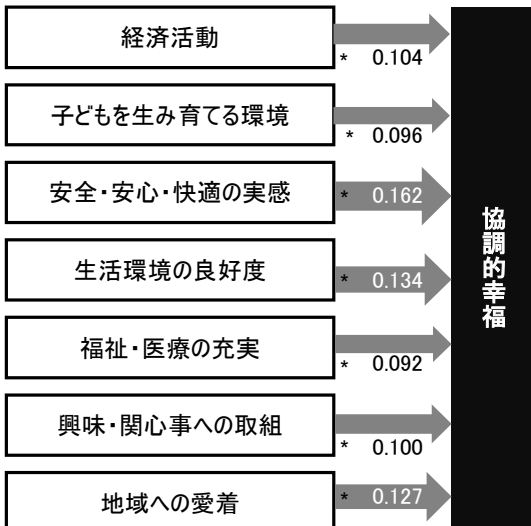
(n=2007)

<分野指標の暮らしの満足への影響度>



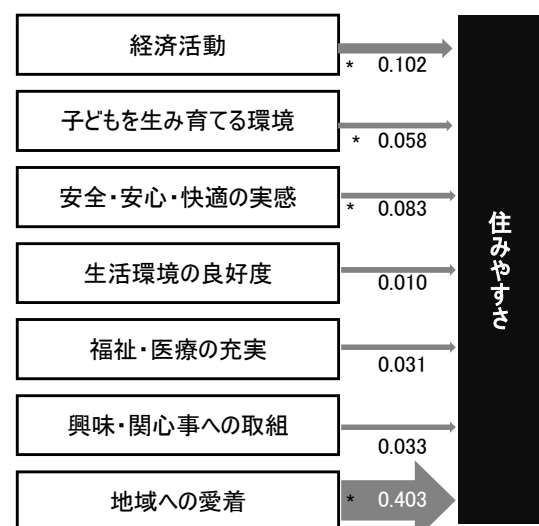
(n=2006)

<分野指標の協調的幸福への影響度>



(n=1999)

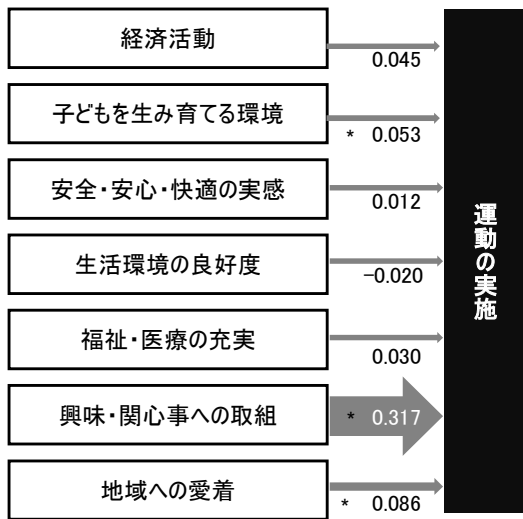
<分野指標の住みやすさへの影響度>



(n=1977)

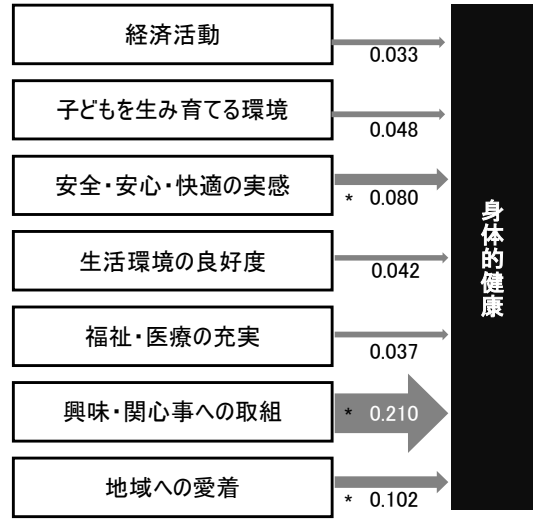
² 重回帰分析とは、複数の要因が特定の結果にどの程度影響しているかを理解するための統計的手法の一つ。

<分野指標の運動の実施への影響度>



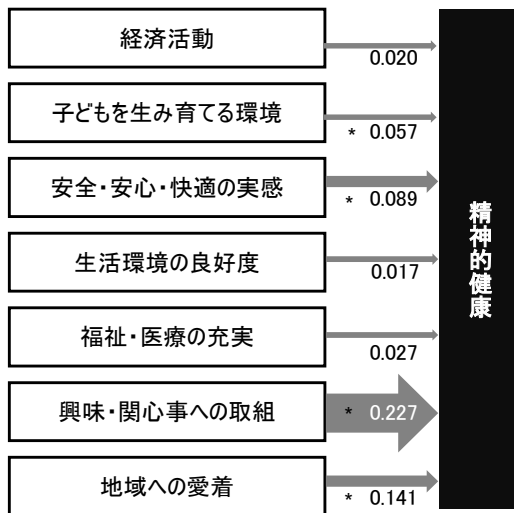
(n=2007)

<分野指標の身体的健康への影響度>



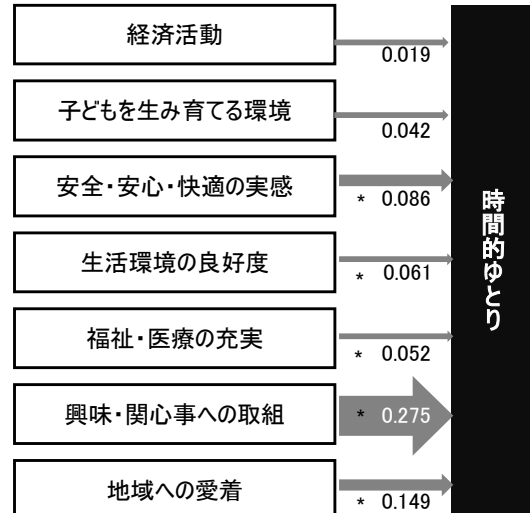
(n=2006)

<分野指標の精神的健康への影響度>



(n=2005)

<分野指標の時間的ゆとりへの影響度>

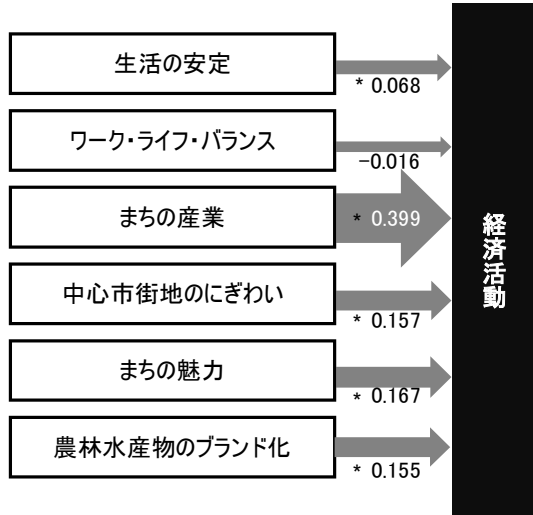


(n=2003)

【分野指標への個別指標の影響度】 *は5%の有意水準で有意差あり

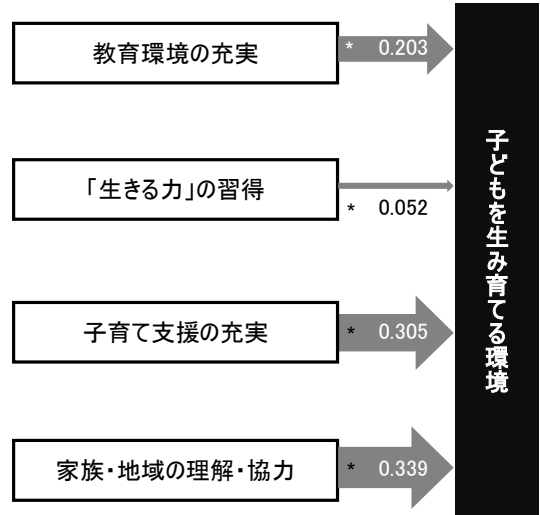
分野指標への影響度が高い個別指標をみると、経済活動への影響度が最も大きい個別指標は「まちなみの産業」、子どもを生き育てる環境については「家族・地域の理解・協力」、安全・安心・快適の実感では「まちなみの良さ」、生活環境の良好度では「生活環境の快適さ」、福祉・医療の充実では「医療の充実」、興味・関心事への取組では「生涯学習環境の充実」、地域への愛着では「地域行政」となった。

＜個別指標の経済活動への影響度＞



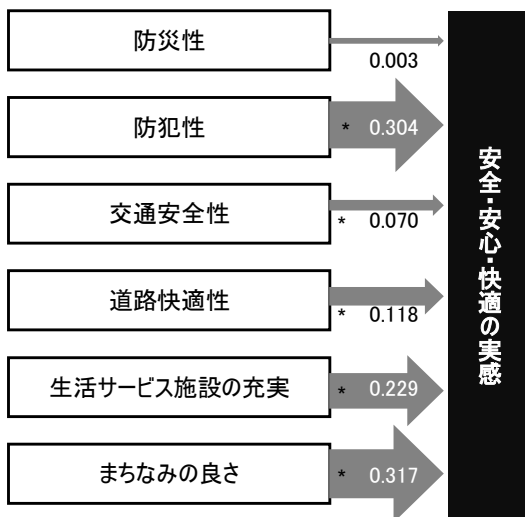
(n=2125)

＜個別指標の子どもを生き育てる環境への影響度＞



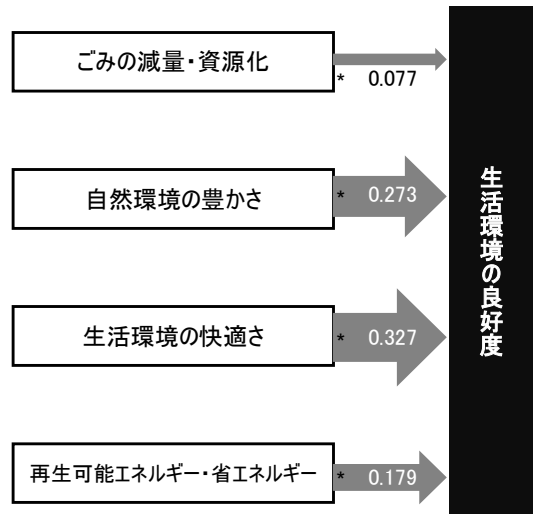
(n=1971)

＜個別指標の安全・安心・快適の実感への影響度＞



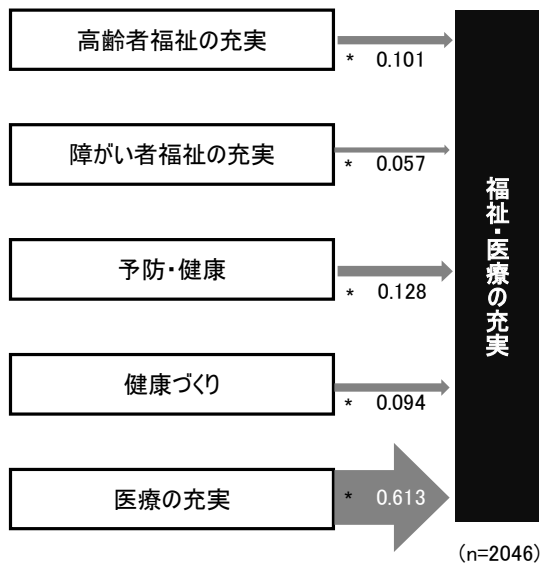
(n=2491)

＜個別指標の生活環境の良好度への影響度＞

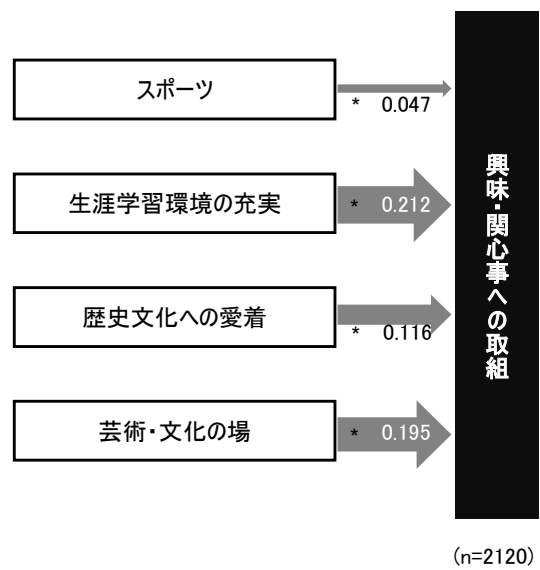


(n=2169)

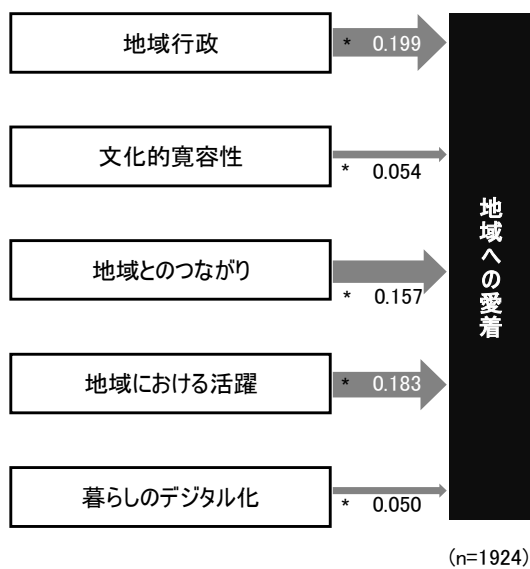
<個別指標の福祉・医療の充実への影響度>



<個別指標の興味・関心事への取組への影響度>



<個別指標の地域への愛着への影響度>

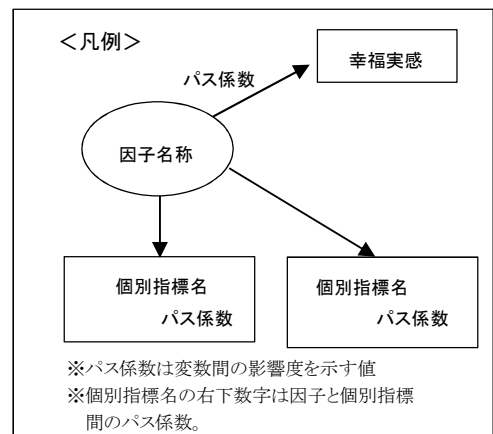
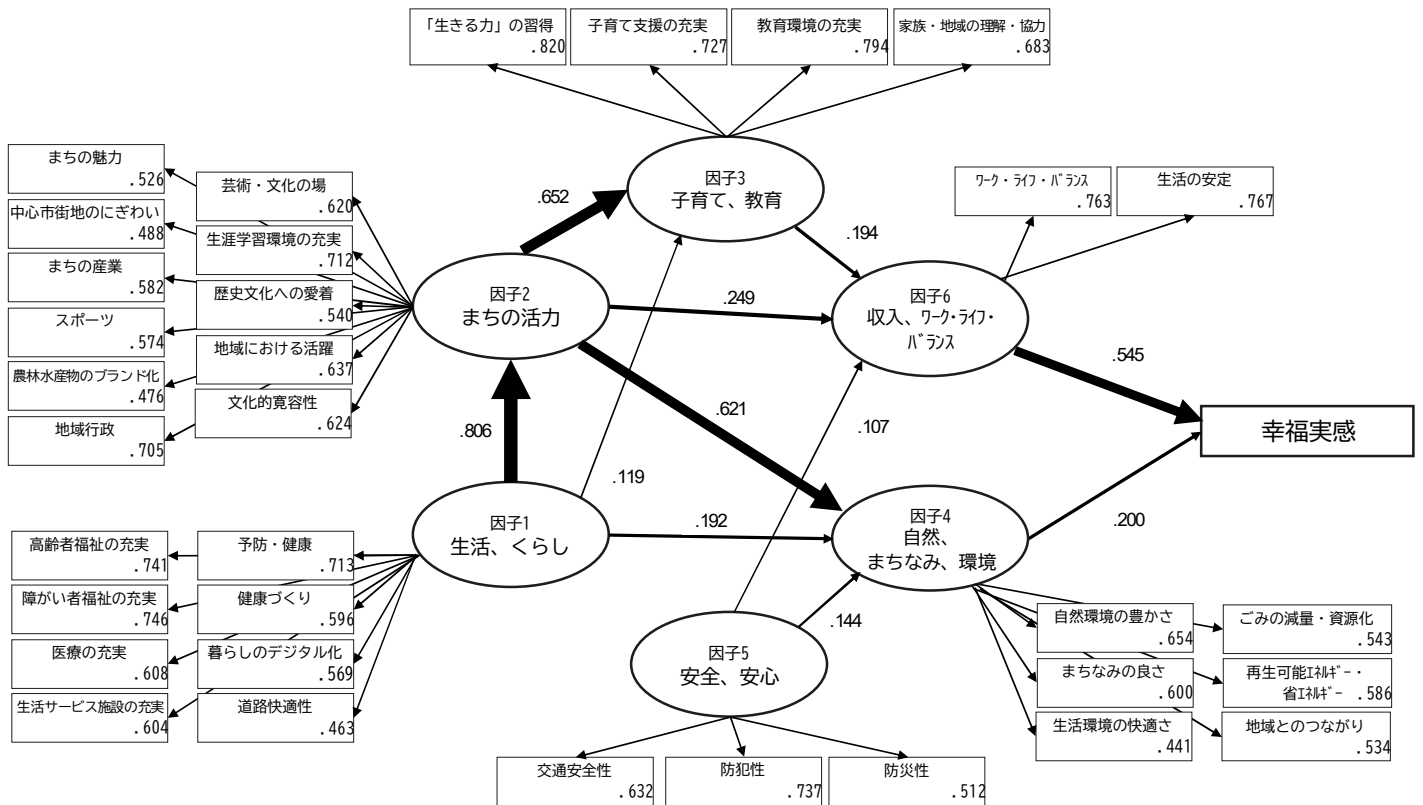


④幸福実感の構造

個別指標 (34 指標) を共通性の高い6グループに分類し、因子として設定した。6つの因子が幸福実感の向上にどのように寄与しているか、因子同士の関係を含め、共分散構造分析³によりモデル化を行った。

このモデルでは、「収入、ワーク・ライフ・バランス」および「自然、まちなみ、環境」が幸福実感の向上に直接的影響を与えていることを示している。パス係数をみると特に「収入、ワーク・ライフ・バランス」が幸福実感の向上に大きく影響していることがうかがえる。「収入、ワーク・ライフ・バランス」は「まちの活力」「子育て、教育」「安全、安心」からの影響を受けており、「まちの活力」「子育て、教育」「安全、安心」は「収入、ワーク・ライフ・バランス」の向上を通じて幸福実感の向上に間接的影響を与えているとも言える。また、「自然、まちなみ、環境」は「まちの活力」「生活、くらし」「安全、安心」からの影響を受けており、「まちの活力」「生活、くらし」「安全、安心」は「自然、まちなみ、環境」の向上を通じて幸福実感の向上に間接的影響を与えているとも言える。

<幸福実感の共分散構造モデル>



³ 共分散構造分析とは、複数の要素の関係性やその程度を図を用いて表現する統計的手法の一つ。

4 広聴モニターアンケートについて

市民意識調査（アンケート）において幸福実感が低かった指標について、自由記述の調査を行うことで、実感が低い要因の一端を分析した。

(1) 調査の設計

調査地域：浜松市内

調査対象：広聴モニター228人

調査方法：質問紙郵送法及びインターネット回答

調査期間：2024年2月6日～2月20日

有効回収数：200人

有効回収率：87.7%

(2) 質問内容

【問1】2023年11月～12月に実施したアンケート調査の結果、比較的実感が低かった指標について同じ内容で質問をした。回答方法は「感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「感じない」の5段階評価 + 「わからない」のいずれかを選択することとした。

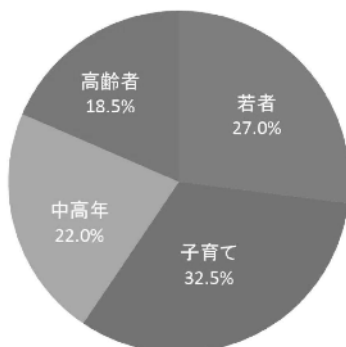
個別指標名	質問文
中心市街地のにぎわい	浜松市の中心市街地はにぎわいがあると感じますか？
子育て支援の充実	あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか？
交通安全性	あなたの暮らしている地域で、交通事故の危険を感じますか？
再生可能エネルギー・省エネルギー	あなたの暮らしている地域で、地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が十分にされていると感じますか？
障がい者福祉の充実	あなたの暮らしている地域は、障がい者が暮らしやすい環境だと感じますか？
予防・健康	あなたの暮らしている地域では、生活習慣病対策など、健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか？

【問2】上記の質問内容について、あなたが、浜松市で幸せに暮らしていくにあたり、最も改善が必要だと思う項目について、どのように変わればよいと思うかを質問した。回答方法は自由記述とした。

(3) 調査結果の概要

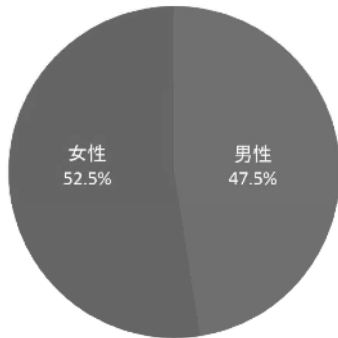
① 回答者の属性

■ 回答者の世代 (n=200)



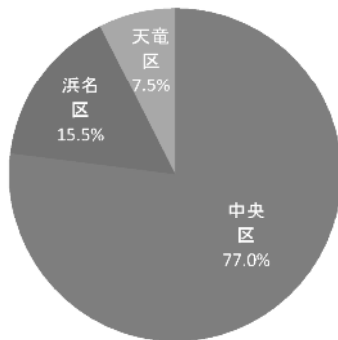
世代	年齢	人数	割合
若者	18歳～34歳	54人	27.0%
子育て	35歳～49歳	65人	32.5%
中高年	50歳～64歳	44人	22.0%
高齢者	65歳～79歳	37人	18.5%

■ 回答者の性別 (n=200)



性別	人数	割合
男性	95人	47.5%
女性	105人	52.5%

■ 回答者の居住区 (n=200)

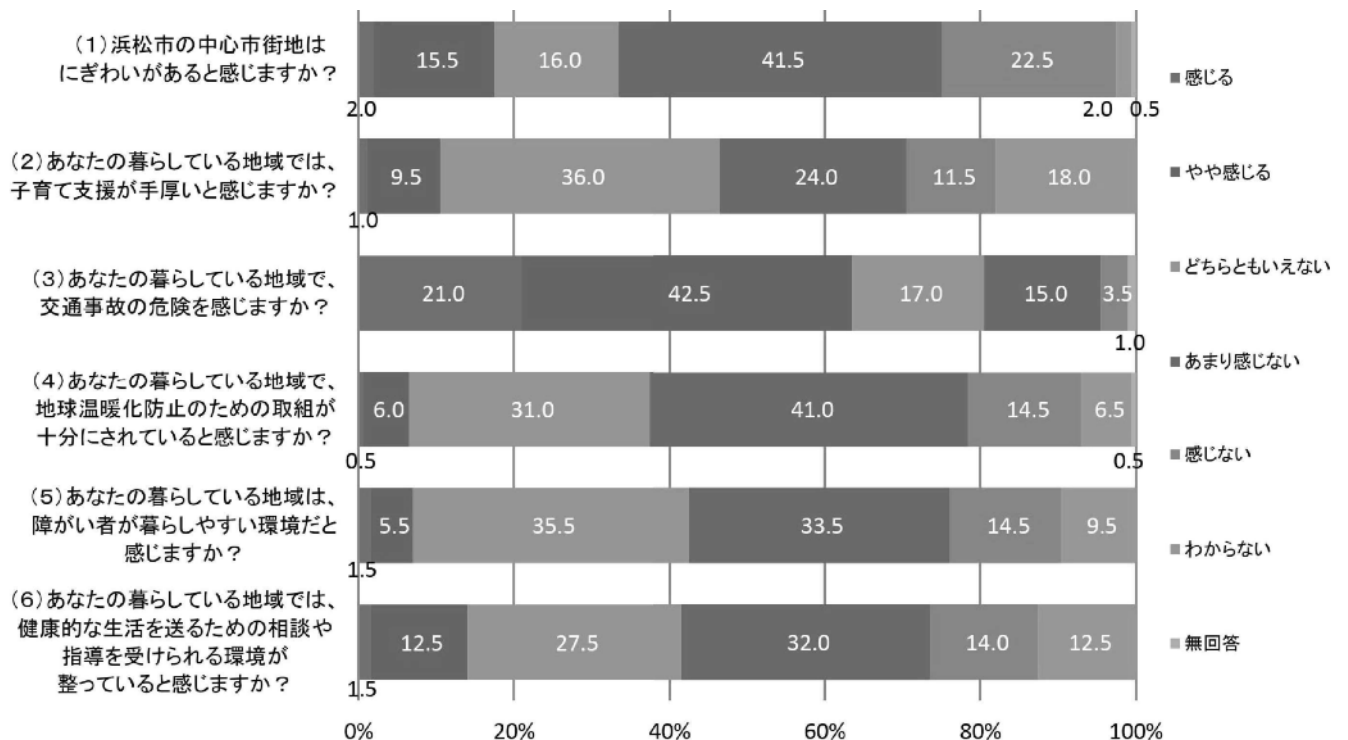


居住区	人数	割合
中央区	154人	77.0%
浜名区	31人	15.5%
天竜区	15人	7.5%

※比率はすべて百分率（パーセント）で表し、少数点以下第2位を四捨五入しています。このため、比率の合計が100%にならない場合があります。

② 調査結果

【問1】 次の（1）から（6）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）



【問2】問1の(1)から(6)について、あなたが、浜松市で幸せに暮らしていくにあたり、最も改善が必要だと思う項目について、どのように変わればよいと思いますか。次の欄に自由に記述してください。

問1(1)～(6)について、「あまり感じない」、「感じない」の回答に関連する回答の中から抽出した。
 ※(3)は負の実感を質問していることから「感じる」、「やや感じる」の回答に関して抽出した。

・「中心市街地のにぎわい」関連

No.	回答内容
1	街中の商店街、すたれているところが多く、活気もなく淋しい感じ。空きスペースの有効活用ができれば。夜とか明かりが少なく人通りも多くないので何とかなればな、と思う。
2	中心街に空き地が目立ち、寂れた感じがします。松菱跡地に個性的で魅力のある店舗が並び、また気軽に立ち寄れる喫茶店や軽食の店などがあると、人の流れも多くなり、中心街が活性化するのではないかと思います。また、夜間はメインストリートの照明が暗く、歩いていて不安な気持ちになります。照明は明るい色で多めに設置されていればと思います。
3	街中に老若男女が快適に居られて楽しめる場所(富山市の図書館のような)規模の大きなもの。町中を散策(安全に)できるような街づくり、町中の魅力ある飲食店、公園、遊歩道の整備、新設。
4	交通手段です。各地域にミニバスでもあったら出かけやすい。地下鉄、バス(ほとんど役立たず)がないから、自家用車の移動手段しかありません。移動手段がないことは街の発展につながらないと思いますが?特にお年寄りを中心市街地には行けないです。

・「子育て支援の充実」関連

No.	回答内容
1	子育て世代にもっと手厚い支援を!!しずおか子育て優待カードを持っていても、使える場所が少ない。割引サービスなど充実して欲しい。
2	子育て支援に力を入れてほしい。金銭面で補助があると助かる。仕事と子育てをしている人には休暇もほしい。有休だけでは時間的にも体力的にも金銭的にもきつい。子どもが遊べる施設がもっとたくさんあると助かる(駐車場完備で!!)。市の施設を利用して、子供の体操教室だったりスクールを安く開催してくれると嬉しい(アイミティのような)。自分の家の近くにはないので・・・
3	子育てのしやすい街にしてほしい。他市(他県)と比べても魅力的な公園や遊び場が圧倒的に少ないと感じる。週末はあえて県外や市外の公園を利用している。
4	私個人の話になりますが、隣の県から引っ越してきて浜松は子供を育てやすい市ではないと感じています。医療費がかかる事や希望する保育園への入園の難しさ、手当等です。今は子育てをしているのでやはり子育て関連の要望になりますが、そのように感じてしまっています。
5	地域で、子育てをする。昔のような、温かい地域の人がいなくなってしまったと思う。
6	出産を機に子供との時間を大切にしたいと退職しましたが、その間健康診断を受けていません。産後の体の調子を戻していくことがうまくできずにいます。病院へ子供を連れて行きにくかったり預けられないことも理由にあります。経済的余裕がある訳では無く、今しかない子供との時間や成長を近くで見守りたい関わりたい為に専業主婦でいるのですが、働いていないお母さんへの支援は無いと感じます。

・「交通安全性」関連

No.	回答内容
1	歩行者、自転車用の通路の区別や安全に交通するためのガードレール等の設備。
2	事故を繰り返す場所の改善、整備を行い、安全に生活ができること。
3	歩道の整備 バリアフリーと言われる今日にもかかわらず、歩道に段差が多すぎる。また歩道にくぼ地があつて危険すぎる。車いす、シルバーカーを利用している方が安全に移動できない。私も歩行中にくぼ地に足をとられて転倒、膝にひびが入る、2カ月過ぎた今も病院通いが続いています。
4	学生を含め、自転車の危険運転が多いと感じるためルールの指導に力を入れてほしいです。
5	自動運転やカーシェア充実させお年寄りが事故なく近所の買い物に行ける暮らし。

・「再生可能エネルギー・省エネルギー」関連

No.	回答内容
1	太陽光パネルがあちこちに設置されているが、発電時にCO2が排出されないのはいいのだけど、気になるのは廃棄問題。ごみ処理場の問題や不法に放置されたりとそちらが心配。東京は家を建てる時にパネルの設置が義務化と聞いたが、そんなことにならないよう願う。
2	1-4の地球温暖化防止対策や再生可能エネルギーに関する改善です。まずきかれてこんなことをしています、と思いたらない。どの世代、立場の者も皆が共通するのはここだと思う。ただ具体的な案はわからない。一人一人の意識の問題であるし、大きく何かをなそうとすると費用もかかる。

・「障がい者福祉の充実」関連

No.	回答内容
1	障がい者のみならず高齢者も交通の便が悪い事で出掛けられず、家にこもりがちです。町内を巡回するバス、ワンボックス、ワゴン車など走行されれば、行動範囲が広がり、生きがいも増すと思います。
2	障がい者が暮らしやすい環境とは、高齢者や子育て世代にも暮らしやすい。生活の安定や暮らしやすさが幸せを感じられると思う。
3	道路について、高低差をなくせば歩行しやすくなるのでは。杖をつく人、車いすで移動する人、高齢者の歩行にはいいのではないかと。
4	障がい者の方や健常者の方みんなで楽しめる大きなイベントを定期的に行う事で中心市街地や浜松全体が賑やかになり盛り上がると思います。

・「予防・健康」関連

No.	回答内容
1	健康などについてもっと気軽に相談できるような所があると良いと思います。
2	相談や指導は、できるのであれば自治会単位で行っていただければ、人が集まるのではないでしょう。

5 市民意識調査結果の総括

(1) 総合的な考察

- ・幸福実感には様々な要因が影響を与えており、1つの政策の実施による実感への影響は限定的であることから、部局間で連携して政策を複合的に検討することが重要である。
- ・また、幸福実感には市の政策以外の影響もあることから、国や県、企業、団体、市民個人など、あらゆる主体との協働を念頭に置いて取り組む必要がある。
- ・本調査は、本市の地域特性や住民の特性を数値で把握することや、推測ではなく実際の住民意識の裏付けを持って説得力のある政策を実施できる点に意義がある。

(2) 分野別の考察

- ・各部局が現場の課題認識に基づいて調査結果の考察を行い、別紙「市民意識調査結果に対する考察（分野別）」にまとめた。
- ・単純集計だけでなく、クロス集計により明らかになった属性ごとの回答傾向に着目し、どのような属性を持つ住民に課題が生じているのかを把握した上で、今後、政策の見直しの方向性を検討する。

(3) 市民意識調査活用の方角性

- ・市民意識調査結果の考察を踏まえ、実感の低かった指標や、事業は進捗しているが市民の認識や実感が伴っていない指標については、課題を特定し、取組を強化していく等、次期基本計画の政策に反映していく。
- ・市民の幸福実感は、主観的な感情を抽象的に把握したものであることから、自治体政策の効果検証の対象とするKPI（数値目標）ではなく、現状を捉える指標として中長期的な経年変化の把握に活用することが重要となる。
- ・今回実施した市民意識調査（アンケート）の質問（50問程度）をもとに、本年6月頃に再度調査を実施し、次期基本計画における基準値を設定する。
- ・次期基本計画においては、毎年度、総合指標と分野指標のみ調査して経年変化を把握するとともに、節目となる時期には、今回と同様の全問調査を行い、中間評価を実施する。

市民意識調査結果に対する考察（分野別）

No.	分野	指標名	部局名	現行計画の政策名	分析結果	考察及び方向性
1	産業経済	中心市街地のにぎわい	産業部	魅力ある都心づくりと商業振興	「浜松市の中心市街地はにぎわいがあると感じますか」について「感じる」2.1%、「やや感じる」7.7%で実感している人は1割程度にとどまり、「あまり感じない」33.4%、「感じない」38.9%と実感していない人が7割にのぼる。産業経済の7指標の中では実感している割合が最も低くなっている。属性別では、10歳代、20歳代において他の年代よりも実感している割合が高めとなっている。また居住年数が5年未満の人で実感している割合が高くなっている。	実感している割合が分野の中で最も低い指標であることから、実感の向上に向けた取組が一層重要と考える。単純・クロス集計の結果、実感している人の割合が1割程度と特に低いことは、本政策の課題と認識している。政策の立案に向けては、令和5年度に実施している調査検討業務結果を踏まえつつ、特に若者等が中心市街地に関心を持つ観点から、一層取組を推進する必要がある。
2		農林水産物のブランド化	産業部（農林水産担当）	生産基盤の安定による農業振興	「浜松産の農林水産物は、ブランドとして評価されていると感じますか」について「あまり感じない」が19.1%、「感じない」が7.3%と2割強が実感していないものの、「感じる」が8.6%、「やや感じる」が37.7%と実感している人が4割強と割合が高くなっている。年齢別では10歳代及び20歳代において、ブランド化されていると実感している割合が高い。	ブランド化は、地域の農林水産業等の収益性の向上や地域経済の活性化、食の多様化と食文化の発展につながるものと考えられている。情報の発信力が高い10歳代、20歳代の実感が高いことを強みと捉え、現在の政策を継続することで、浜松産農林水産物の認知度向上が図られ、他年代への広がりが期待される。政策としては、次代を担う若年層を中心に本市農林水産物の魅力を伝えとともに、ブランド化による他地域との差別化を図り、シビック・プライドを醸成し市民幸福度を高めるため、生産者から消費者まで様々な視点を捉えた取組が必要である。
3	子育て・教育	子育て支援の充実	こども家庭部	妊娠・出産を応援するための環境づくり	「あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか」について「感じる」2.4%、「やや感じる」11.3%で実感している人がおよそ1割、「あまり感じない」24.4%、「感じない」12.3%で実感していない人が3割強となっており、子育て・教育分野の5指標の中では実感している人の割合が最も低くなっている。特に、子どもがいない人について実感している人の割合は1割程度にとどまっている。	重要度が高く、実感が低い指標であることから、実感の向上に向けた取組が必要である。クロス集計の結果、子どもがいない人で実感している人の割合が低いことを課題として認識している。出会いや結婚の希望、子どもが欲しい人の希望を叶え、安心して子どもを育てることができ、子どもが大切にされる社会となるよう、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行う必要がある。特に、子育て支援施策は、支援を必要としている方やサービスを受ける対象者に、施策を周知し、利用しやすいものとするのが、子育て支援の充実を実感することにつながると考えられる。また、少子化は様々な要因が影響していることから、こども家庭部を中心に産業、福祉、教育、都市整備など幅広い分野が連携し、取組を推進していく。
4		「生きる力」の習得	学校教育部	夢と希望を持ち続ける子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> 「あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか」について「感じる」8.3%、「やや感じる」26.7%で実感している人が3割強、「あまり感じない」16.3%、「感じない」6.6%で実感していない人がおよそ2割となっており、子育て・教育分野の5指標の中では実感している人の割合が最も高くなっている。特に中学生、高校生の年代の子どもを持つ人において実感している割合が高めとなっている。 教育環境が整っていると感じるかの設問(Q3(1))に肯定的な回答をした人の約7割が、必要な知識等を身に付けられる教育がされていると感じるか(Q3(2))の設問においても、肯定的な回答をしている。 教育環境が整っていると感じるかの設問(Q3(1))に肯定的な回答をした人の約8割が、地域に愛着を持っているか(Q13(6))の設問においても、肯定的な回答をしている。 教育環境が整っていると感じるかの設問(Q3(1))に肯定的な回答をした人の約5割が、地域の歴史文化に愛着や誇りを感じるか(Q11(3))の設問においても、肯定的な回答をしている。 教育環境が整っていると感じるかの設問(Q3(1))に肯定的な回答をした人の約5割が、音楽や芸術を鑑賞できる場や文化活動に参加できる場が整っていると感じるか(Q11(4))の設問においても、肯定的な回答をしている。 教育環境が整っていると感じるかの設問(Q3(1))に肯定的な回答をした人の約7割が、現在のどの程度幸せか(Q15(1))の設問において、7以上の肯定的な回答をしている。 教育環境が整っていると感じるかの設問(Q3(1))に肯定的な回答をした人の8割強が、これからも浜松に住み続けたいか(Q16(1))の設問において肯定的な回答をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境の充実に係る意識と、必要な知識等に係る教育に対する意識は関係性が強いものと考えられることや、教育環境の充実は定住意識や市民の幸せ意識にもつながるものと考えられるため、第4次浜松市教育総合計画(R7～)に基づく教育施策を着実に推進していく。 教育環境が充実していると感じている人は、必要な知識等が身につけられていると感じている割合も多く、関連が深いと予想される。第4次計画においても、確かな学力をはじめ、豊かな心や健やかな身体など、子供たちが必要となる資質能力を育む取組を推進していく。 教育環境が充実していると感じている人は、地域の歴史や文化、芸術などに触れる機会が整っていることなどにより、地域への高い愛着を感じているものと考えられるため、第4次計画においても豊かな心を育む取組を推進していく。
5	安全・安心・快適	防災性	危機管理監	みんなの力で自然災害から生き残る	「あなたの暮らしている地域で、災害の危険を感じますか」について「危険を感じる」が21.2%、「危険をやや感じる」が29.4%とおよそ5割が危険を実感している。その一方で、「危険をあまり感じない」が25.9%、「危険を感じない」が10.6%と危険を実感していない人が3割強いるもの実感している人の割合が高くなっている。また、居住区別では天竜区で危険を実感している割合が最も高く、続いて中央区南地域、中央区西地域の順で危険を実感している。	安全・安心・快適において、防災性が他の項目に比べて重要度が高い。また、災害時に土砂災害のリスクがある天竜区、津波被害のリスクがある中央区の沿岸域で危険を実感している割合が高くなっていることから、想定されるリスクに応じたハード・ソフト対策が必要である。
6		防犯性	市民部	地域防犯の向上	「あなたの暮らしている地域で、犯罪への不安を感じますか」について「感じる」6.7%、「やや感じる」26.7%で実感している人がおよそ3割、「あまり感じない」34.5%、「感じない」8.8%で実感していない人がおよそ4割となっている。10歳代、20歳代、70歳以上においては犯罪の不安を実感している割合はやや低めとなっている。	重要度・実感度ともに高いことから、現在取り組んでいる政策が効果的であると考えられるが、3割余りが犯罪への不安を実感していることから、不安除去に向けた取組が一層重要と考える。「安全・安心・快適」分野は、10年後の重要度も2位と高いことから、警察や防犯協会、地区安全会議などの関係団体と協力しながら取組を推進する。
7	環境・エネルギー	生活サービス施設の充実	都市整備部	集約都市づくりの推進	「あなたの暮らしている地域の生活サービス施設（医療・福祉、買物、文化、公共交通など）は充実していると感じますか」について「感じる」9.9%、「やや感じる」32.1%で実感している人がおよそ4割、「あまり感じない」19.5%、「感じない」12.7%で実感していない人が3割となっている。居住区別でみると、中区、東区は実感している人の割合が高くなっているが、西区、南区、北区、天竜区では低い。実感度は3.03、重要度は1.30と、ともに高い値となっている。	重要度が分野の中で3番目で分野平均より高い指標であることから、実感の向上に向けた取組が一層重要と考える。政策の立案に向けては、拠点等への都市機能集積や公共交通の維持・充実等に向け、一層取組を推進する必要がある。
8		再生可能エネルギー・省エネルギー	カーボンニュートラル推進事業本部	再生可能エネルギー等の導入、省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> 「あなたの暮らしている地域で、地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が十分にされていると感じますか」について、幸せにとって特に重要だと思う1位に選んだ人は6.3%となり、「生活環境（大気、水、土壌など）」55.5%、「豊かな自然」27.1%と比較して最も少なくなっている。同項目を1位に選んだ人の他の質問への回答は以下のとおり。 男性51.8%、女性46.4% 47%の人が「生活環境（大気、水、土壌など）」を幸せにとって特に重要だと思う第2位に選んでおり、約半数が生活環境を重視している。 再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が十分であるかの実感が、「どちらともいえない」18.1%、「あまり感じない」38.0%、「感じない」が30.1%と、実感していない人が8割以上と高くなっている。 現在重要だと思う分野が第1位「産業経済」、第2位「安心・安全・快適」となっている 市内の企業の活力を「どちらともいえない」28.9%「あまり感じない」31.9%、「感じない」13.9%と、7割以上が企業活動に活気を感じていない。 仕事や日常生活の場におけるデジタルサービスの利用しやすさを「あまり感じない」が30.1%、「感じない」が19.9%と、半数となっている。 豊かな自然が守られ、自然と触れ合う暮らしが「あまり感じない」が28.9%、「感じない」が12.0%と、4割強となっている。 	太陽光発電設備導入量が全国1位であるにも関わらず、「取組が十分にされていない」という回答が多いため、より市民への周知、意識啓発が重要であると考えられる。産業経済の重要性に反して、企業に活力がないと感じていることから、脱炭素を企業の成長につなげていく施策が必要である。また、再エネの導入が不十分であると認識しているものの、導入に際しては生活環境、自然環境が守られていることが前提として考えられているため、引き続き地元との調和のとれた再エネ導入を推進していくとともに、大規模な再エネ設備に限らず、自然環境への影響が小さい住宅、事業所の屋根への太陽光発電設備の設置やZEB、ZEHなどの省エネ性能の高い住宅・事業所等の導入を推進する。

市民意識調査結果に対する考察（分野別）

	分野	指標名	部局名	現行計画の政策名	分析結果	考察及び方向性
9	健康・福祉	高齢者福祉の充実	健康福祉部	超高齢社会への対応	<p>「あなたの暮らしている地域は、高齢者が暮らしやすい環境だと感じますか」について、「感じる」が4.8%、「やや感じる」が20.7%で、何らかの実感があると回答した、いわゆるポジティブ層は約2割5分である。これに対し、「あまり感じない」が24.4%、「感じない」が14.0%と、いわばネガティブな実感があると回答した人が約4割と、実感があると回答した人よりもかなり高い。また、「どちらともいえない」との回答は約3割と一定数を占めており、「可も不可もない」「評価としてプラマイゼロ」など、回答者の意図ははかりきれないが、現状に特に不満はない層であると考えられる。</p> <p>年齢別では、ポジティブ層として最も割合が高いのは10歳代である。核家族化が進み若い世代で高齢者と同居している人は多くない中でこのような結果が出るのは興味深い。学校教育の中で福祉に関して学ぶ機会があるのが一つの要因であると考えられる。年代が上がるにつれて、ポジティブ層の割合は徐々に減る一方でネガティブ層の割合が増加するのは、高齢者と接する機会が増え、福祉施策についてのリアルな情報を得ることが多くなるのが理由として考えられる。また、高齢者の入口である65～69歳でネガティブ層の割合が最も高くなるが、実際にその年代で高齢者福祉サービスを使う人の割合はそう多くはないが、自らが福祉の当事者となりつつある中で、実際将来的にどのようなサービスが使えるのか不安に思う人が一定の割合いるからであると考えられる。ただ、69歳以降はポジティブ層が増加することからも、実際に福祉サービスが身近になってくると、ポジティブな実感を得られるようになってくると考えられる。</p> <p>居住区別では、天竜区におけるネガティブ層の割合が他区に比べて特に高く、5割を超えている。また、「どちらともいえない」回答の割合が他区に比べて低く、現状を是認しない層が多いこともうかがえる。天竜区では人口減少等により医療・介護・買い物等の拠点が十分ではない地域が多く、あらゆる場面での担い手不足、移動手段は自家用車に頼るほかないことなど、生活面で実際に直面している課題や将来に対する不安など、様々な要因が数字に如実に表れているものと考えられる。</p>	<p>全体として、ネガティブ層が半数にまで迫る勢いであることから、今後さらに進む超高齢社会への対応のため、本市が提唱する、やらまいか人生年齢区分の「まだまだ現役世代(65～74歳)」「いきいき充実世代(75～87歳)」「かがやく悠久世代(88歳～)」の各ステージでの暮らしを見据え、雇用や生きがい対策、介護予防、認知症施策等の高齢者福祉施策を展開していく必要がある。</p> <p>また、ネガティブ層の割合が特に多い20歳から69歳については、将来への不安を抱えていると考えられることから、高齢者福祉サービスの周知など具体的な高齢者施策の普及啓発を図る必要がある。</p> <p>また、地区別の課題として、天竜区における5割を超えるネガティブ層が抱える不安感を払拭するのは容易ではない。地域包括支援センターを中心とした高齢者への相談支援のみならず、行政内の各課が課題共有し連携しながら、中山間地に特化した持続可能な高齢者施策を展開していくことが重要である。</p>
10		予防・健康	健康福祉部(医療担当)	生涯にわたる健康づくり	<p>「あなたの暮らしている地域では、生活習慣病対策など、健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか」について「感じる」が3.3%、「やや感じる」が13.8%とおよそ2割が実感しているのに対し、「あまり感じない」が25.0%、「感じない」が13.8%で、実感していない人がおよそ4割と、実感していない人の割合が高くなっている。</p> <p>また、分野の中において、実感度も低いうえ、医療や高齢者福祉と比べ、幸せに対する重要度も低い状況にある。60歳～64歳の介護保険制度前、定年退職の年代や独居の人が「予防・健康」を重要と答えている割合が高い。居住区別では、旧東区、旧浜北区で重要と答えている割合が高い。</p>	<p>重要度も実感度も低い指標であり、人生100年時代において、健康寿命の更なる延伸のために、市民が健康への関心を高め、望ましい生活習慣を選択ができるよう相談、支援体制を構築していくとともに、市民のヘルスリテラシーの向上に向け、予防・健康づくりの取組を広く市民に周知する必要がある。また、年代や性別、環境によって必要な健康支援は異なることから、データに基づき地域特性やライフコースに応じたアプローチを推進していく必要がある。</p>
11	文化・生涯学習	芸術・文化の場	市民部(文化振興担当)	芸術・文化の拠点の創造と発信	<p>「あなたの暮らしている地域では、生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか」について「感じる」「やや感じる」と実感している割合が32.7%、「あまり感じない」「感じない」が40.1%となっている。中央区→浜名区→天竜区の順に実感の割合が低くなっている。年齢別では10歳代から40歳代までは実感している割合が実感していない割合を上回っている。</p> <p>重要度については文化・生涯学習分野においてはどの年代、区別でも生涯学習について2番目となっている。分野ごとの現在の重要度では10歳代を除いては、生活に直結する分野(産業経済、安全、健康・福祉、子育て)より下位となっている。10年後の重要度については全ての年代で下位となっている。</p>	<p>実感度が10歳代から40歳代で顕著に高いことから、30年に渡る「音楽のまち」「音楽の都」に関連した若い世代を対象とした人材育成の成果が着実に浸透していると考えられる。</p> <p>文化・生涯学習分野においては重要度も高いことから、自ら音楽を楽しむ市民の割合も高まっていると考えられるため、引き続き音楽や文化芸術に触れ、体験する機会の提供に力をいれるとともに、従来からさらに音楽、文化芸術のジャンルを広げた取り組みを展開し、実感度の向上(実感していない割合を下げる)を目指す。</p>
12		スポーツ	市民部(スポーツ推進担当)	生涯スポーツを楽しむ機会の拡大	<p>「浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか」について「感じる」2.8%、「やや感じる」11.7%で実感している人がおよそ1割、「あまり感じない」32.2%、「感じない」22.0%で実感していない人がおよそ5割となっている。文化・生涯学習分野における5指標の中では、生涯学習環境の充実と並んで実感している人の割合が低い。属性別でみて特筆すべき点はない。</p>	<p>属性別でみると、指標の「スポーツ観戦機会の充実」と「年齢」とのクロス集計では、「やや感じる」の割合が10歳代23.1%と最も高く、年齢が50歳代を超えると実感している人の割合が減少傾向となっている。文化・生涯学習分野の指標の中で実感度が最も低いことから、政策の立案に向けては、現在進めている浜松アリーナリニューアル事業などの大規模施設整備と併せ、プロスポーツチームとの連携による観戦機会の創出や様々なスポーツの国際大会・全国大会を積極的に呼び込むなど、ソフト事業とハード事業を一体的に取り組み推進する。</p>
13	地方自治・都市経営	地域とのつながり	市民部	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進	<p>「あなたの暮らしている地域では、自治会や地域行事などの地域活動への参加が盛んだと感じますか」について「感じる」が6.9%、「やや感じる」が30.9%とおよそ4割が実感しているのに対し、「あまり感じない」が18.2%、「感じない」が8.1%と実感していない人がおよそ3割であり、実感している人の割合が少し上回っている。一方で「どちらともいえない」も29.5%とおよそ3割となっている。</p> <p>年代別でみると10～20歳代において実感している割合が高く、年齢が上がるにつれ同割合が低下する。また、職業別では学生において実感している割合が高い。家族数別では家族数が多いほど実感している割合が高く、子どもの年代別では小学生、中学生のいる人において実感している人の割合が高めとなっている。居住区別では浜名区で実感している割合が高い。</p> <p>重要度は平均0.64と非常に低い値となっているが、その中でも年齢が高い属性の人は重要だと答えている割合が高い。実感度は平均2.93と非常に高い値となっており、年齢が低い属性の人が特に実感していると答えている割合が高い。</p>	<p>重要度が分野の中で最も低い指標であるが、実感度が分野の中で最も高い指標であることから、高い実感を維持するための取組が重要と考える。特に単純・クロス集計の結果、家族数が少ない属性の人や高齢者の実感が低いことは、本政策の課題とも認識している。政策の立案に向けては、単身者や高齢者の地域活動への参加促進の観点から、一層取組を推進する必要がある。</p>
14		暮らしのデジタル化	デジタル・スマートシティ推進部	先端技術やデータを活用したデジタル・スマートシティの推進	<p>「あなたの暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいと感じますか」について「感じる」2.2%、「やや感じる」11.8%で実感している人が1割強、「あまり感じない」26.5%、「感じない」15.8%で実感していない人がおよそ4割となっている。特に10歳代、20歳代において実感している人の割合が高くなっている。一方で、70歳以上では実感している人の割合は低い。また、居住区別でみると旧天竜区、旧北区は「感じない」「あまり感じない」の合計割合がそれぞれ58.4%、51.5%とその他の区と比較し高くなっている。</p> <p>重要度は平均0.73と、分野の中では低い指標となっている。</p>	<p>実感度、重要度ともに低い値となっているが、デジタルはあくまで手段であり、指標単体で考えるのではなく、デジタルを活用することで安全・安心や便利・快適な市民サービスを実現し、デジタルの恩恵を誰もが感じることに重要であるため、継続して取組を進めていく。</p> <p>特に、子育てや中山間地域における医療・福祉、災害対策など、Well-Being指標において生活満足度との相関係数が高い分野で取組を進めることで、市民のWell-Beingが期待できる。</p> <p>また、高齢者ほど実感が低いことは課題であるため、引き続き対応が必要である。</p>